

※一部非公開

平成二十三年入學試験問題（前期日程）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一五〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読み、〈普通語〉と〈国語〉に関する著者の考えを踏まえて、あなたが、〈普通語〉以外の言語を学ぶ意味と、〈国語〉で書くことの意味について、一二〇〇字以内で論述しなさい。

非公開

非公開

非公開

(水村 美苗、『日本語が亡びるとき―英語の世紀の中で』、筑摩書房、二〇〇八年、二五四～二五六ページ、抜粋)

平成二十三年入學試験問題（前期日程）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻

出題の意図

この小論文の出題の意図は、英語中心の世界状況、とくにアカデミックな分野における英語中心の状況に関する著者の問題提起を参考にし、日本で英語以外の言語（特に、仏語や独語などのヨーロッパの言語）を学ぶ意味や、国語で書く意味について考え、そこから導き出された各自の見解を、論理的に表現できるかをみることである。